

平成18年度
東オホーツクシニックバイウェイ
活動報告

- 0. 地域活動報告の概要
- 1. ルート運営活動計画に関する地域の報告
- 2. ルート運営活動計画に関する行政の報告
- 3. 地域及び行政の運営に関する報告
- 4. 審査委員会意見に関する報告

0-地域活動報告の概要

・地域活動に関する報告(東オホーツクシニッカパイウェイ)

ルート名称:東オホーツクシニッカパイウェイ			報告者:東オホーツクシニッカパイウェイ連携会議 代表 高谷弘志		
★:ルート(エリア)運営活動計画に位置づけられた活動内容以外に実現した取り組み					
基本方針	ルート計画活動内容	No.	平成18年度の活動内容	総括	
景観形成 28	オホーツク海・斜里岳・知床連山・田園風景を美しく見せる (美しい沿道の保全・啓蒙)	小清水原生花園、以久科原生花園の保全(ネナシカズラの除去等)		-	「知床」の玄関口として、おもてなしの心をもった植栽・清掃活動を実施。自治体をはじめとする活動団体以外の機関とも連携もおこなっており、今後も継続した取り組みとしていくための仕組み及び、活動のPRをかねたエリア・ルートでの連携などの展開を検討していく。
		沿道の一斉清掃活動の実施	H - 1	清里地区沿道清掃	
		沿道の植栽活動の実施	H - 2	ウトロ沿道に花を植えよう	
			H - 3	花と緑と交流のまちづくり事業	
			H - 4	コスマスロードの植栽・管理	
			H - 5	花公園づくり	
		H - 6	★電線・電柱移設プロジェクト(斜里町ウトロ)		
	鮮明な四季の色彩を見せる (花の沿道の創出・連携や植物群生の保全)	網走湖周辺の水芭蕉の保全活動	H - 7	呼人水芭蕉群生地の保全	-
		花を見る木道づくりの推進	H - 8	桜の名所(景観)創り	
		東オホーツクは花カレンダーの作成		-	
東オホーツク花シンポジウムの実施		H - 9	花と緑と交流のまちづくり事業		
ビューポイントを再発見・創出する	景観探しツアーの実施	H - 10	ビューポイント探しバスツアー	-	
		H - 11	子どもフォトハイキング		
		H - 12	第2回東オホーツクシニッカパイウェイフォトコンテスト		
		H - 13	オホーツクフォトグラファーーメンバーズ写真展		
		H - 14	東オホーツクシニッカパイウェイ美幌エリア「美幌町を観なおそうプロジェクト」		
	ビューポイントの再発見及び創出と ビューポイントマップづくり		東京農業大学 オホーツク・ファイン・トレール	-	
		H - 10	ビューポイント探しバスツアー		
		H - 15	シニックデッキの創出		
			シニックデッキ		
		H - 10	流氷茶屋、湖畔茶屋、山の茶屋の創出		
観光振興	風を感じさせるマグネットポイントの創出		-	-	
		H - 10	サケ・サクラマスを見れる拠点の創出や清掃		
		H - 15	ビューポイント探しバスツアー		
			シニックデッキ		
	各地毎の滞在メニューの創出・連携		東オホーツクウォーキングルートの選定とフットパスづくり	お勧め景観ポイントや東オホーツクの自然を活かした活動を実施。今後も魅力的なメニュー提供を行うため、シニック活動への参加を行うなど地域との交流を深める。また、好評であった連携活動は、継続的な実施へ向け運営体制等を検討するとともに、他の活動においても開催日時の統一や情報発信等、効果的な連携のかたちを模索していく。	
		H - 16	フットパスマップ及び「秋のオホーツク体験紀行」の発行		
		H - 16	オホーツクホーストレッキングin網走2006		
		H - 17	斜里岳山麓原生林の森の中ツリーイング(木登り)を楽しもう		
	東オホーツク型観光の研究	H - 17	エコツアーや自然探索ツアーの実施	自然観察ハイキング・地球環境問題勉強会	
		H - 18	自然観察ハイキング・地球環境問題勉強会		
		H - 16	馬やバルーン景観の研究		
		H - 19	オホーツクホーストレッキングin網走2006		
			コミュニケーションボードの作成		
			聖地巡礼のエコツアーやメンの聖地を巡る~		
	東オホーツクトラベルの研究		「さーこい、どんとこい美幌町に！」観光振興看板設置事業	「」案内所(国際観光振興機構【JNTO】)の指定	
		H - 20	網走観光フォーラム		
			東オホーツク観光塾の創出		
		H - 21	東オホーツクエリアガイドの育成と仕組みづくり		
		H - 22	エリアガイド育成事業		
			★小清水原生花園フラワーガイド事業		

ルート名称:東オホーツクシニックバイウェイ	報告者:東オホーツクシニックバイウェイ連携会議 代表 高谷弘志	
-----------------------	---------------------------------	--

★:ルート(エリア)運営活動計画に位置づけられた活動内容以外に実現した取り組み

基本方針	ルート計画活動内容	No.	平成18年度の活動内容	総括
農・水・林・地域文化資源の発掘と連携 地域づくり 地域連携による地域情報の発信	地域資源の洗い出しマップの作成とバス発掘ツアーの実施	H - 10	ピューポイント探しバスツアー	各地域ごとに、歴史、自然、食など地域資源の保全・活用の取り組みを進めており、今後は、エリア・ルートの魅力発掘と情報発信を行う。また、これらの取り組みを含め、地域の担い手となる若手(子供も含む)への教育を視野にいた活動を進める。
	地域特産物の販売やPR活動	H - 23	オリジナルグッズの製作・試験販売	
	先住民族フォーラムの実施		-	
	植林事業等の実施		-	
	温泉情報マップの作成	H - 24	東オホーツクシニックバイウェイマップVol.4	
	文化施設等との連携による文化発信		-	
	フトパスづくり		-	
	オホーツクバーボンの研究		-	
	外国人交流の実施と誘致		-	
	オホーツクのオリジナル食メニューの研究		東オホーツク食のガイドブック	
		H - 25	★初夏の美幌峠牧場内ウォーク	
	活動団体向けニュースペーパーの発行	H - 24	東オホーツクシニックバイウェイマップVol.4	
	HPの創出と各町観光情報とのリンク	H - 26	東オホーツクシニックバイウェイホームページ	
			★東オホーツクシニックバイウェイ一周年フォーラム	
		H - 27	★美幌エリア取組み活動報告	
			★美幌 YEG 地域塾	

1. ルート運営活動計画に関する地域の報告

・地域活動に関する報告(東オホーツクシニッカパイウェイ)

ルート名称:東オホーツクシニッカパイウェイ	報告者:東オホーツクシニッカパイウェイ連携会議 代表 高谷弘志	報告年月:2007/3/21
-----------------------	---------------------------------	----------------

★:ルート(エリア)運営活動計画に位置づけられた活動内容以外に実現した取り組み

基本方針	ルート計画活動内容	No.	平成18年度の活動内容	活動団体	活動実施日	成果及び課題	総括
オホーツク海・斜里岳・知床連山・田園風景を美しく見せる (美しい沿道の保全・啓蒙)	小清水原生花園、以久科原生花園の保全 (ネナシカズラの除去等)		-	東オホーツクシニッカパイウェイ連携会議	-	網走国定公園小清水原生花園風景回復対策協議会の主催で「ネナシカズラの除去作業」を実施。地域の小学生からお年寄りまで参加。本年度は、参画しなかったが、次年度に向けて日程等を考慮し、保全活動を行う予定。	
	沿道の一斉清掃活動の実施	H - 1	清里地区沿道清掃	東オホーツクシニッカパイウェイ連携会議	5月13日(土)	道路管理者(北海道)や自治体に良い評価を得るとともに、東オホーツクシニッカパイウェイ連携会議のエリア活動のあり方のひとつとしても、良い結果となった。	
		H - 2	ウトロ沿道に花を植えよう	うとろナチュラルクラブ	6月11日(日)	うとろナチュラルクラブと地域住民の方々が、国道334号の改良工事区間の共用前の植樹スペースに花の苗を植え、知床の玄関となるウトロの市街地の景観を向上させる。訪問客に対して好評だった。	
		H - 3	花と緑と交流のまちづくり事業	清里町花と緑と交流のまちづくり委員会	平成18年度中	花と緑、美しい豊かな自然、農村景観を生かしたまちづくりを行い、清里町の町民(会員)が周囲の環境を再評価し、景観づくりに積極的に関わるとともに、各方面からの表彰を受けている。今後の東オホーツクシニッカパイウェイの景観形成の手本となる良い事例である。	
		H - 4	コスモスロードの植栽・管理	上斜里フラワーロード推進協議会	5月～10月	清里町上斜里地区的道道摩周湖斜里線の両側にコスモスを植栽している。通称「コスマス街道」と呼ばれ、旅行者などの観光スポットになっている。景観形成の好事例となっている。	
		H - 5	花公園づくり	NPO願岳僕倖 こぼれ幸	4月～10月	主にハナボウフ、サルナシ(コクワ)の育生・栽培し、現在、網走市内各地に、1万本植えている。挿し穂、定植、株分け、花苗のポット植えなどの作業を会員とボランティアにより行っている。今後の活動の継続により新たな観光ポイントになりえる。	
			商店街花壇整備	大空町女満別商工会	6月10日(土) ～10月末日	大空町女満別の商店街のイメージアップを図ることを目的に花壇整備を行っている。町民からは、好評を得ている。	
		H - 6	★電線・電柱移設プロジェクト (斜里町ウトロ)	東オホーツクシニッカパイウェイ連携会議	平成19年 1月13日(土)	電柱や柵の構造変更などは、一般住民では困難な場合が多く、行政、電柱などの構造物の管理機関などとの連携が不可欠。	
	網走湖周辺の水芭蕉の保全活動	H - 7	呼人水芭蕉群生地の保全	網走湖・水と緑の会	4月23日(日)	網走湖周辺の貴重な自然の価値を認識し、自然環境の保全と修復を図り、自然との調和を目指した文化を育み創造することを目的として、保全地林内整備、植樹、風倒木整理、水芭蕉写真展などを行っている。	「知床」の玄関口として、おもてなしの心をもった植栽・清掃活動を実施。自治体をはじめとする活動団体以外の機関とも連携もおこなっており、今後

ルート名称:東オホーツクシニッカバイウェイ			報告者:東オホーツクシニッカバイウェイ連携会議 代表 高谷弘志			報告年月:2007/3/21	
★:ルート(エリア)運営活動計画に位置づけられた活動内容以外に実現した取り組み							
基本方針	ルート計画活動内容	No.	平成18年度の活動内容	活動団体	活動実施日	成果及び課題	総括
景観形成 観 る る る る る る る る る	花を見る木道づくりの推進	H - 8	桜の名所(景観)創り	桜の名所を創る会	5月7日(日)～10月21日(土)	桜の植樹を行うことにより、自然豊かな緑の森・環境が整い景観の場、町民の散策・憩いの場、地域連携の場が創出できた。	も継続した取り組みとしていくための仕組み及び、活動のPRをかねたエリア・ルートでの連携などの展開を検討していく。
	東オホーツクは花カレンダーの作成		-	東オホーツクシニッカバイウェイ連携会議	-	今後、東オホーツクエリアの花に関する情報収集を行う。	
	東オホーツク花シンポジウムの実施	H - 9	花と緑と交流のまちづくり事業	清里町花と緑と交流のまちづくり委員会	8月5日(土)～6日(日)	町民(会員)が周囲の環境を再評価し、景観づくりに積極的に関わるとともに、各方面からの表彰を受けている。景観形成の起爆剤となっている事業である。	
			★藻琴川の清掃	藻琴川を美しくする会	8月6日(日)	故郷の川を大切にすることを目的にし、毎年8月の初めに、藻琴川の清掃を行うボランティア活動であり12年間継続されている。	
	景観探しツアーの実施	H - 10	ビューポイント探しバスツアー	東オホーツクシニッカバイウェイ連携会議	6月17日(土)	『東オホーツクシニッカバイウェイ周年記念フォーラム』一環として行った。	
	東オホーツクフォトコンテストの実施	H - 11	子どもフォトハイキング	東オホーツクシニッカバイウェイ連携会議	9月24日(日)	子どもたちに自然の中で写真撮影を楽しんでもらった。	
		H - 12	第2回東オホーツクシニッカバイウェイフォトコンテスト	東オホーツクシニッカバイウェイ連携会議	審査 平成19年 3月15日	東オホーツクシニッカバイウェイのエリアを対象としたフォトコンテストを開催。道内外から627の作品が応募。入賞作品は、今後、東オホーツクのPR等に用いられる。	
		H - 13	オホーツクフォトグラファーメンバーズ写真展	東オホーツクシニッカバイウェイ連携会議	6月4日(土)～2月28日(火)	各メンバーが撮影した、オホーツクの四季折々の写真を展示了。来場者へ写真に関するアドバイスも行った。	
	ビューポイントを再発見・創出する	H - 14	東オホーツクシニッカバイウェイ 美幌エリア 「美幌町を観なおそうプロジェクト」	東オホーツクシニッカバイウェイ連携会議美幌エリア参画団体(8団体)	8月29日(火)、9月15日(金)、10月23日(月)、11月21日(火)、12月12日(火)、平成19年1月23日(火)、2月27日(火)	山岳ステージのルートのひとつである国道243号の自然景観の良い場所を選定し、その利活用について検討している。今後は景観の創出を行い、利活用を含めた景観のあり方について検討を行っていく。	
			東京農業大学 オホーツク・ファイン・トレール	東京農業大学 生物産業部	5月～11月	市民を対象とした東京農大カレッジ講座、体験型授業としての自然観察実習、オープンキャンパス見学会など、ファントレールを活用しての自然体験学習を6回実施し、リーフレットや小冊子を用いての実践的体験学習を行い、延べ450人程の学生や市民の方々が利用した。	
		H - 10	ビューポイント探しバスツアー	東オホーツクシニッカバイウェイ連携会議	6月17日(土)	『東オホーツクシニッカバイウェイ周年記念フォーラム』一環として、今後の景観形成活動基礎情報を地元住民と連携会議のメンバーで共有するため行った。今後のビューポイントパーキング候補地の視察を行った。	
	シニックデッキの創出	H - 15	シニックデッキ	東オホーツクシニッカバイウェイ連携会議	6月～10月	デッキに関しては、観光客はもとより、地域住民の方からの支持が高く、継続的な設置の要望があり実施した。	

ルート名称:東オホーツクシニックハイウェイ	報告者:東オホーツクシニックハイウェイ連携会議 代表 高谷弘志	報告年月:2007/3/21
-----------------------	---------------------------------	----------------

★:ルート(エリア)運営活動計画に位置づけられた活動内容以外に実現した取り組み

基本方針	ルート計画活動内容	No.	平成18年度の活動内容	活動団体	活動実施日	成果及び課題	総括
観光振興	風を感じさせるマグネットポイントの創出	流氷茶屋、湖畔茶屋、山の茶屋の創出		東オホーツクシニックハイウェイ連携会議	-	シニックデッキの設置までは行ったが、そこを利用した茶屋の創出までは、施設、人、資金の問題で行えなかった。	
		サケ・サクラマスを見れる拠点の創出や清掃	H - 10	ビューポイント探しバスツアー	東オホーツクシニックハイウェイ連携会議	6月17日(土)	『東オホーツクシニックハイウェイ周年記念フォーラム』一環として、今後の景観形成活動基礎情報を地元住民と連携会議のメンバーで共有するため行った。今後のビューポイントパーキング候補地の視察を行った。
	各地毎の滞在メニューの創出・連携	東オホーツクウォーキングルートの選定とフットパスづくり		フットバスマップ及び「秋のオホーツク体験紀行」の発行	オホーツク21世紀を考える会	9月30日(土)~10月1日(日)	各地域のウォーキングルート、フットパスの情報収集を実施中。今後、これらを利用したウォーキングツアーも計画予定。
		ホーストレッキングルートの選定	H - 16	オホーツクホーストレッキング in網走2006	オホーツク・ホーストレッキング研究会	9月	ホーストレッキングを実施し、参加者には初めて乗馬を体験する人もいたが好評であった。今後のホーストレッキングルートの選定に向けた検討を行った。
		エコツアーの連携や自然探索ツーの実施	H - 17	斜里岳山麓原生林の森の中ツリーイング(木登り)を楽しもう	清里町商工会	9月3日(日)	新たな体験型イベントになる可能性が出てきた。今回、料金は無料だが用具、準備作業及びインストラクターの養成を考えるとコストがかかってしまう。
			H - 18	自然観察ハイキング・地球環境問題勉強会	豊かな自然を楽しみ出来る会(略称 自然の会)	平成18年度中	夏期には、美幌町内及びその周辺区域で、自然を観察しながら、ハイキングを行い、冬期は、地球環境問題をテーマにした勉強会を行っており、参加者の自然環境への関心が高まっている。
	馬やバルーン景観の研究	馬やバルーン景観の研究	H - 16	オホーツクホーストレッキング in網走2006	オホーツク・ホーストレッキング研究会	9月30日(土)~10月1日(日)	ホーストレッキングを実施し、参加者には初めて乗馬を体験する人もいたが好評であった。今後のホーストレッキングルートの選定に向けた検討を行った。
			H - 19	コミュニケーションボードの作成	東オホーツクシニックハイウェイ連携会議	平成19年2月28日(水)	東オホーツク地域の観光客が遭遇する様々な場面・会話モデルを想定し、色弱の方にも配慮した優しい色を用いた、イラストと4ヶ国語で表記したコミュニケーションボードを作成した。まだ、配布等をおこなっていないため成果は不明だが、宿泊施設、土産物店等では、外国人対応がスムーズになると考えられる。
		聖地巡礼のエコツアーエンの聖地を巡る~		NPO 知床ナチュラリスト協会	11月3日(金)~4日(土)	メナシにはアイヌ民族にとって大切な聖地であるチャンが数多く残されている。そのチャンをアイヌ民族のガイドとともに訪れた。ツー客からは、先住民族の歴史や文化に触れることが好評であった。	
		「さーこい、どんとこい 美幌町に！」 観光振興看板設置事業		社団法人 美幌青年会議所	5月	地域の経済振興を目指し、観光振興への看板を設置することにより、JC会員で観光産業を支援していく意識の構築を図った。その結果、空から玄関口にふさわしい道東オホーツクをアピールとした看板になった。	

お勧め景観ポイントや東オホーツクの自然を活かした活動を実施。今後も魅力的なメニュー提供を行うため、シニック活動への参加を行うなど地域との交流を深める。また、好評であった連携活動は、継続的な実施へ向け運営体制等を検討するとともに、他の活動においても開催日時の統一や情報発信等、効果的な連携のかたちを模索していく。

ルート名称:東オホーツクシニッカバイウェイ	報告者:東オホーツクシニッカバイウェイ連携会議 代表 高谷弘志	報告年月:2007/3/21
-----------------------	---------------------------------	----------------

★:ルート(エリア)運営活動計画に位置づけられた活動内容以外に実現した取り組み

基本方針	ルート計画活動内容	No.	平成18年度の活動内容	活動団体	活動実施日	成果及び課題	総括
東オホーツク型観光の研究	東オホーツクトラベルの研究	H - 20	「i」案内所(国際観光振興機構【JNTO】)の指定	美幌観光物産協会	8月25日(金)	「i」案内所の看板を設置することによって、外国人観光客はもとより、日本人観光客も、「ここが案内所」ということが容易に判断でき、観光案内の機会が増え、職員のホスピタリティ向上につながった。実際に有料の電話通訳サポートを利用するまでの状況は現在のところないが、町民ボランティアの協力を得た通訳、翻訳体制があり、実際にオランダからの観光客受け入れに成功し、良好な関係を保っている。	18
			網走観光フォーラム			昨年知床が世界自然遺産に登録され、国際的にも注目を集めている。そこで、旅行会社の企画担当者を招き、網走の自然と食を体験してもらい、観光素材の再認識について意見交換を行った。その結果、数多くの旅行代理店企画担当者が参加し、網走の自然体感と食を再認識してもらうことができ、今後の旅行商品作成の一助になった。	
	東オホーツク観光塾の創出	H - 21	エリアガイド育成事業	東オホーツクシニッカバイウェイ連携会議	12月12日(火) 平成19年1月16日(火) 1月29日(月)	講習会で既存ガイドの実態調査を実施。「ご当地検定」には長い準備期間と相当な資金が必要と思われる。	
	東オホーツクエリアガイドの育成と仕組みづくり					冬季間を除き5月～10月までフラワーガイドを行うが、集中期間は花の一一番盛んな6月15日～7月15日としている。フラワーガイドは不特定多数を対象として行っており、常時3名体制でボランティアガイドを行っており、観光客からは好評を得ている。	
	H - 22	★小清水原生花園 フラワーガイド事業	小清水観光 ボランティアガイド協会	6月15日(木)～ 7月15日(土)			
農・水・林・地域文化資源の発掘と連携	地域資源の洗い出しマップの作成とバス発掘ツアの実施	H - 10	ビューポイント探しバスツアー	東オホーツクシニッカバイウェイ連携会議	6月4日(土) 10月10日(月)	このツアーをきっかけに、地域資源の洗い出し、再発掘を行った。	18
	地域特産物の販売やPR活動	H - 23	オリジナルグッズの製作・試験販売	東オホーツクシニッカバイウェイ連携会議			
	先住民族フォーラムの実施		-	-	-	本年度は、フォーラムではなく、聖地巡礼のエコツアーを行っている。	
	植林事業等の実施		-	東オホーツクシニッカバイウェイ連携会議	-	今後、東オホーツクエリアの植林・植樹について、検討を行う。	
温泉情報マップの作成	温泉情報マップの作成	H - 24	東オホーツクシニッカバイウェイマップ Vol.4	東オホーツクシニッカバイウェイ連携会議	10月1日(日)	10月に東オホーツクシニッカバイウェイマップを情報拠点、道の駅、観光案内所、宿泊施設、レンタカー受付カウンター等で配布。好評だった。	18
	文化施設等との連携による文化発信		-	東オホーツクシニッカバイウェイ連携会議	-	文化施設と連携した形での情報発信について、今後、発信する情報の内容等について検討を行う。	
	フットパスづくり		-	東オホーツクシニッカバイウェイ連携会議	-	各地域のウォーキングルート、フットパスの情報収集を行っており、今後、新たなフットパスの創出も考慮し、検討する。	

ルート名称:東オホーツクシニックバイウェイ			報告者:東オホーツクシニックバイウェイ連携会議 代表 高谷弘志			報告年月:2007/3/21	
★:ルート(エリア)運営活動計画に位置づけられた活動内容以外に実現した取り組み							
基本方針	ルート計画活動内容	No.	平成18年度の活動内容	活動団体	活動実施日	成果及び課題	総括
地域づくり ✿	楽しみの創出 (東オホーツク文化・ライフの追求)		オホーツクバーボンの研究	東オホーツクシニックバイウェイ連携会議	-	今後の中長期的な取り組みとして、オホーツクバーボンまたはそれに類した商品の開発を行う。	各地域ごとに、歴史、自然、食など地域資源の保全・活用の取り組みを進めており、今後は、エリア・ルートの魅力発掘と情報発信を行う。また、これらの取り組みを含め、地域の担い手となる若手(子供も含む)への教育を視野にいた活動を進める。
			外国人交流の実施と誘致	東オホーツクシニックバイウェイ連携会議	-	今後、外国人との交流の場を設け、ネットワークの構築を目指す。	
			オホーツクのオリジナル食メニューの研究	東オホーツク 食のガイドブック	東オホーツクシニックバイウェイ連携会議	平成19年 2月7日	東オホーツクエリアの「食」について、リストアップができシニックマップVol4に生かすことができた。今後は、メニュー、店舗の外観の写真データを集積について検討する。
		H - 25	★初夏の美幌峠 牧場内ウォーキング	美幌観光物産協会 東オホーツク 美幌あるこう会	7月9日(日)	初夏の美幌峠牧場周辺の散策路を1~2時間かけてウォーキングを行った。ウォーキング終了後は、湖西山(美幌峠牧場管理舎)で昼食をとった。今後は、観光メニューとして検討を重ねる予定。	
地域連携による地域情報の発信	活動団体向けニュースペーパーの発行	H - 24	東オホーツクシニックバイウェイマップVol.4	東オホーツクシニックバイウェイ連携会議	10月1日(日)	10月に東オホーツクシニックバイウェイマップを情報拠点、道の駅、観光案内所、宿泊施設、レンタカー受付カウンター等で配布。好評だった。	東オホーツクの景観を「色」でとらえ、今一度このエリアを見直す良いきっかけになったと思われる。フォーラム等のノウハウを蓄積し、活動団体と共有できるように検討したい。
	HPの創出と各町観光情報とのリンク	H - 26	東オホーツク シニックバイウェイ ホームページ	東オホーツクシニックバイウェイ連携会議	9月29日(金) 平成19年 2月14日(水)	東オホーツクシニックバイウェイ連携会議のホームページについて、ドメインの取得はできており、近日中に公開予定。	
			★東オホーツク シニックバイウェイ 一周年フォーラム	東オホーツクシニックバイウェイ連携会議	6月16日(金)	東オホーツクの景観を「色」でとらえ、今一度このエリアを見直す良いきっかけになったと思われる。フォーラム等のノウハウを蓄積し、活動団体と共有できるように検討したい。	
		H - 27	★美幌エリア取組み 活動報告	東オホーツクシニックバイウェイ連携会議	平成19年 2月4日(日)	美幌エリアの取組みを町民に向けて発信し、アンケートで地域づくりに向けたニーズの把握と東オホーツクシニックバイウェイの認識の状況を把握した。	
			★美幌 YEG 地域塾	美幌商工会議所青年部	9月14日(木)28日(木) 10月12日(木)26日(木) 11月9日(木)	“地域を育てる”人材となれるようコミュニティの創造・確立を目指し、次代を担う皆様と地域の産業について共通の認識を持つることも目的として「地域塾」を開催した。受講者一人ひとりの効果や成果はそれぞれだが、美幌町の資源をどう活用して地域やビジネスにつなげていくかという考え方を理解する事ができたと思われる。	

2. ルート運営活動計画に関する行政の報告

- ・行政の事業に関する報告(東オホーツクシニッカパイウェイ)

ルート名称:東オホーツクシニッカパイウェイ	報告者:東オホーツク行政連絡会議	報告年月:2007/3/21
-----------------------	------------------	----------------

基本方針	平成18年度の活動内容	活動団体	活動実施日	成果及び課題	総括
オホーツク海・斜里岳・知床連山・田園風景を 美しく見せる (美しい沿道の保全・啓蒙) 景観形成	ビューポイントパーキング「東オホーツクワークショップ」の開催(第1回～第4回)	網走開発建設部・網走支庁・網走市	8月11日(金) 10月2日(月) 12月4日(月) 翌年2月15日(木)	一般国道244号鰯浦漁港付近(網走市)に、地域の方々とワークショップを行なながら「ビューポイントパーキング」の整備計画の立案を行った。	官民協働により、地域や利用者の満足度が高い道路施設の整備計画を立案した意義は大きい。「ビューポイントパーキング」は全国展開する「とるば」の先例となったこともあり、ワークショップを通じて「ゆとりある道路空間づくり」の企画から計画に携わったメンバーの達成感も大きく、地域協働の好事例と判断している。
	メルヘンの丘・ビューポイントパーキング清掃活動	網走開発建設部・大空町	4月26日(水)	大空町にある道の駅「メルヘンの丘めまんべつ」、昨年完成した「メルヘンの丘・ビューポイントパーキング」の更なる利用促進・満足度の向上を図るために地域住民とともに清掃活動を行った。	官民協働により、地域住民や利用者の多い道路施設の清掃意義は大きい。観光客を迎える準備もでき、清掃に携わったメンバーの達成感も大きく、地域協働の好事例と判断している。
	美幌峠の清掃活動	網走開発建設部・美幌町	7月29日(土)	美幌の活動団体を含めた総勢80名が美幌峠の清掃に参加した。道の駅の駐車場とその周辺の沿道のゴミを拾い集めた。この活動以前に様々な清掃活動が行われていたため、例年よりゴミは少なかった。	官民協働により、地域住民や利用者の多い道路施設の清掃意義は大きい。観光客を迎える準備もでき、清掃に携わったメンバーの達成感も大きく、地域協働の好事例と判断している。
	一般国道39号 大空町女満別「メルヘンの丘」清掃活動	網走開発建設部・大空町	9月26日(火)	昨年完成した「メルヘンの丘・ビューポイントパーキング」の更なる利用促進・満足度の向上を図り、秋の観光シーズンに向けて、自治体と協力して清掃活動を実施した。	東オホーツクの観光スポットになっているメルヘンの丘を清掃することで、ビューポイントパーキングの利用の実態を把握することができ、さらに利用者に向けての「おもてなし」としても有意義な活動であった。
鮮明な四季の色彩を見せる (花の沿道の創出・連携や植物群生の保全)	ガーデンアイランド北海道inきよさと フォーラムの共催	北海道開発局・清里町	8月6日(日)	地域の方々が多く参加され、「花と緑と交流のまち清里町」が広く認知されたとともに、「シニックバイウェイ北海道」及び「東オホーツクシニッカパイウェイ」の取り組みも多くの方に知っていただけ良い機会となった。	このフォーラムは、北海道の雄大な自然、美しい農村、花と緑と交流のまちづくりをどのようにしていくのかををテーマとしたイベント。清里町で大々的に開催できたことは、清里町のPRに留まらず、東オホーツクシニッカパイウェイ活動のキックオフとしても極めて有意義だった。
	一般国道244号 北浜の法面緑化(原生花園化)プロジェクト(仮称)	網走開発建設部・網走市	9月14日(木)	網走管内にある海浜植物の原生花園が地域の観光資源となっており、それらの観光拠点へ繋がる道で周辺に点在する原生花園にならった植栽を進めて、訪れる多くの観光客の方などに景観を楽しんで頂くことを目指し、原生花園の種を採取して北浜法面に植生している。	自生種を植生することにより、自然景観を阻害することなく世界自然遺産「知床」への玄関口にふさわしい自然景観を創出した。
	みちとみどりとけしき 大空町・美幌町 道路緑化勉強会	網走開発建設部	翌年3月2日	、東京農業大学オホーツクキャンパスから鈴木教授を招いて、大空町と美幌町で道路に関する活動を行っている市民の方々と「みちとみどりとけしき」についてのお話しを伺いながら、「道路景観」を考える勉強会を開催した。	道路緑化を考え方を取り入れることによって、地域の環境や景観の向上に資することができることが周知された。今後、景観の保全や改善に向けて、活動団体の新たな取組みや活動のきっかけとなりえる有意義な勉強会であると考えられる。

景観形成	ビューポイントを再発見・創出する	ビューポイント探しバスツアーの助成	網走開発建設部	6月17日(土)	景観形成活動の基礎情報を地域住民、東オホーツクシニックバイウェイ連携会議で共有するため、『景観探しバスツアー』を行い、シニックデッキ候補地やビューポイントパーキング候補地の踏査を行った。さらに現地で景観診断を行った。	参加者の満足度は高く、東オホーツク地域の知られていない魅力と美しい景観の創出に繋がり、有意義な事例と判断している。
		第2回 東オホーツクシニックバイウェイ フォトコンテストの共済、後援	【共済】網走開発建設部 【後援】網走支庁、網走市、大空町、清里町、小清水町、斜里町、美幌町	平成18年度中	東オホーツクの風景・人物など地域の特色ある写真を広く募集し、東オホーツクの魅力を発掘、発信、地域への交流人口の拡大とリピーターの増加、写真を通じての地域の紹介を目的としてコンテストを開催した。網走開発建設部では、コンテストの賞(網走開発建設部長賞)として賞状と副賞を提供した。	東オホーツク地域の知られていない魅力の創出と発信につながり、地域のPRや新たな入り込みによって地域へのリピーターの増加が期待できる。
		ビューポイントパーキング「東オホーツクワークショップ」の開催(第1回～第4回)	網走開発建設部・網走支庁・網走市	8月11日(金) 10月2日(月) 12月4日(月) 翌年2月15日(木)	一般国道244号鰯浦漁港付近(網走市)に、地域の方々とワークショップを行いながら「ビューポイントパーキング」の整備計画の立案を行った。	官民協働により、地域や利用者の満足度が高い道路施設の整備計画を立案した意義は大きい。「ビューポイントパーキング」は全国展開する「とるば」の先例となったこともあり、ワークショップを通じて「ゆとりある道路空間づくり」の企画から計画に携わったメンバーの達成感も大きく、地域協働の好事例と判断している。
観光振興	風を感じさせるマグネットポイントの創出	ビューポイントパーキング「東オホーツクワークショップ」の開催(第1回～第4回)	網走開発建設部・網走支庁・網走市	8月11日(金) 10月2日(月) 12月4日(月) 翌年2月15日(木)	一般国道244号鰯浦漁港付近(網走市)に、地域の方々とワークショップを行いながら「ビューポイントパーキング」の整備計画の立案を行った。	官民協働により、地域や利用者の満足度が高い道路施設の整備計画を立案した意義は大きい。「ビューポイントパーキング」は全国展開する「とるば」の先例となりこともあり、ワークショップを通じて「ゆとりある道路空間づくり」の企画から計画に携わったメンバーの達成感も大きく、地域協働の好事例と判断している。
		上斜里フラワーロードにシニックデッキを設置	網走土木現業所・清里町	6月1日(木)	清里町の活動団体と東オホーツクシニックバイウェイ連携会議と協働して上斜里フラワーロード駐車場にシニックデッキを設置した。その後、町の広報誌を通じて、「とるば」の募集とデッキ周辺の環境美化の協力をお願いした。	シニックデッキを設置したことにより、駐車場への利用者が増え、農村景観を楽しむことができるようになった。清里町の景観のPR効果があったと判断している。
	各地毎の滞在メニューの創出・連携					
	東オホーツク型観光の研究					
地域づくり	農・水・林・地域文化資源の発掘と連携					
	楽しみの創出(東オホーツク文化・ライフの追求)					
	地域連携による地域情報の発信	美幌冬まつりの会場で東オホーツクシニックバイウェイの紹介パネルの展示の補助	美幌町	2月4日(日)	シニックバイウェイ北海道の周知はHPやパンフレット等で紹介されているが、東オホーツクシニックバイウェイの活動や取組みなどは周知されていなく、PRや案内方法が不足している。そこで、美幌冬まつりの会場にテントを設置して、パネルを展示して、美幌の活動や取組みを中心に紹介した。	満足度などの評価はできないが、このような取り組みは、来場者にとって負の要因はないと考えられる。 この取り組みを行ったこと自体、マスコミにも取り上げられ、それだけでもPR効果はあった。

3. 地域及び行政の運営に関する報告

・東オホーツクニッカパイウェイ

ルート名称:東オホーツクニッカパイウェイ	報告者:東オホーツクニッカパイウェイ連携会議 代表 高谷弘志	報告年月:2007/3/21
----------------------	--------------------------------	----------------

	基本方針	具体的取り組み	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
地域の運営に 関わる事項	構成団体・活動理解促進	総会の開催		●5月26日					●10月17日					●3月15日	
		幹事会の開催		●5月23日		●7月18日			●10月3日	●11月29日			●2月20日		
		役員会の開催		●5月9日	●6月12日					●11月15日					
	分科会活動の試行	分科会の開催					●8月25日			●11月14日	●12月15日		●2月7日		
	事務局体制のスタート	NPO法人東オホーツクニッカパイウェイサポーターセンターの設立					法人成立 7月18日	運営開始							→

ルート名称:東オホーツクニッカパイ	報告者:東オホーツクニッカパイウェイ行政連絡会議	報告年月:2007/3/21
-------------------	--------------------------	----------------

	基本方針	具体的取り組み	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	備考
行政の運営に 関わる事項	行政連絡会議の実施				●6月6日										

4. 審査委員会意見に関する報告

・東オホーツクニッカパイウェイ

ルート名称:東オホーツクニッカパイウェイ	報告者:東オホーツクニッカパイウェイ連携会議、東オホーツクニッカパイウェイ行政連絡会議	報告年月:2007/3/21
----------------------	---	----------------

		東オホーツクニッカパイウェイ連携会議の報告	東オホーツクニッカパイウェイ行政連絡会議の報告	備考
東オホーツクニッカパイウェイに対する意見	現状における「運営体制」「関係団体数」「関係自治体」等の実態にあわせルート運営活動計画を見直すこと。	地域の様々な活動団体の活動を整理して、実態の状況も配慮して、景観形成、観光振興、地域づくりなどの柱に属するようなルート活動内容に修正し、それぞれの活動や事業の位置づけを明確にする考え。		
	基幹となる道路に、地域住民、旅行客が共有できるような分かりやすい名称の検討が必要	各地域の特性などを整理し、地域住民、旅行客などに愛着を持たれるような名称の検討を行い、名称を変更する考え。		

東オホーツクシニックバイウェイ

H-1

HIGASHI-OKHOTSK SCENIC BYWAY

『清里地区沿道清掃』

- 【目的】東オホーツクシニックバイウェイ活動団体の連携強化及び、景観保全への意識啓発を目的として、清里町で参加している活動団体を中心にして、道路の清掃を行った。
- 【内容】清里町市街(道道摩周湖斜里線)の空き缶拾いと、道路清掃。
- 【主催】東オホーツクシニックバイウェイ連携会議
- 【参加団体】清里町花と緑の交流まちづくり委員会、清里町商工会、清里町観光協会、清里ネイチャーガイド協会、上斜里フワーロード推進協議会、清里町ウォーキング同好会
- 【参加機関】清里町、清里町建設業協会、清里ロータリークラブ
- 【実施日】5月13日(土) 8:30 ~ 12:00
- 【実施箇所】清里町上斜里会館～緑市街(道々摩周湖斜里線)
- 【参加者】150名



東オホーツクシニックバイウェイ

H-2

HIGASHI-OKHOTSK SCENIC BYWAY

『ウトロ沿道に花を植えよう』

- 【目的】国道334号の改良工事も終わり、共用前の植樹スペースに花の苗を植え、知床の玄関となるウトロの市街地の景観を向上させる。
- 【内容】うとろナチュラルクラブと地域住民の方々が、沿道の花壇に花の苗の植栽を行い、訪問客に対して好評だった。
- 【主催】うとろナチュラルクラブ
- 【実施日】6月11日(日)
- 【実施箇所】ウトロ新規国道ルートから神社山交差点(一般国道334号沿道)
- 【参加者】55名



東オホーツクシニックバイウェイ

H-3

HIGASHI-OKHOTSK SCENIC BYWAY

『花と緑と交流のまちづくり事業』

- 【目的】花と緑、美しい豊かな自然、農村景観を生かしたまちづくりを行う。
- 【内容】清里町の町民(会員)が周囲の環境を再評価し、景観づくりに積極的に関わるとともに、各方面からの表彰を受けている。
- ・平成15年「全国花のまちづくりコンクール」花のまちづくり大賞
 - ・平成18年過疎地域自立活性化優良事例表彰 総務大臣賞
- 【主 催】清里町花と緑と交流のまちづくり委員会
- 【実 施 日】 平成18年4月1日～平成19年3月31日
- 【実施箇所】清里町内一円
- 【参 加 者】 5,000名



東オホーツクシニックバイウェイ

H-4

HIGASHI-OKHOTSK SCENIC BYWAY

『コスモスロードの植栽・管理』

- 【目的】道道摩周湖斜里線沿いに美しいコスモスを咲かせ、ドライバーの目を楽しませるコスモスロードの管理を行い、地域の景観形成を担う。
- 【内容】清里町上斜里地区の道道摩周湖斜里線の両側にコスモスを植栽している。通称「コスモス街道」と呼ばれ、旅行者などの観光スポットになっている。
- 【主 催】上斜里フラワーロード推進協議会
- 【実 施 日】 5月～10月
- 【実施箇所】清里町上斜里地区 道道摩周湖斜里線
- 【参 加 者】 20名



東オホーツク地域活動報告バイウェイ HIGASHI-OKHOTSK SCENIC BYWAY

H-5

『花公園づくり』

【内 容】主にハナボウフ・ギョウシャニンニク・サルナシ(コクワ)の育生・栽培し、現在、網走市内各地に、1万本植えている。挿し穂、定植、株分け、花苗のポット植えなどの作業を会員とボランティアにより行っている。将来は市民や観光客20~30万人に楽しんでもらえる花公園をつくりたいという目標を持っている。

【主 催】特定非営利活動法人 願岳僕倅 こぼれ幸

【実 施 日】4月1日~10月31日

【実施箇所】網走市呼人平和 豊郷

【参 加 者】20名



東オホーツクシニッカバイウェイ HIGASHI-OKHOTSK SCENIC BYWAY

H-6

『電線・電柱移設プロジェクト(斜里町ウトロ)』

【目 的】ウトロの町並みは背後に擁する知床国立公園の自然の素晴らしいに匹敵するかといふと、必ずしもそうとは限らないのが現状である。連携メンバーはウトロのまちづくりに10年以上取り組んできており、現在設置されているシニッカツキ周辺(知床季風クラブ前)の景観整備をモデル的に行うことにより、ウトロの他地域への地域づくりの波及効果を生み出すことを目的とする。

【内 容】まちづくりの中で長年課題となっている、電柱・電線による景観の阻害、国道沿いのガードレール(柵)によるドライブ中の不快感の解決策を検討し提言し、各関係機関との連携を図ってゆく。

【主 催】東オホーツクシニッカバイウェイ連携会議

【参加団体】ウトロナチュラルクラブ、季風クラブしづとこ、NPO知床ナチュリスト協会

【会 議】平成19年1月13日(土)、2月13日(火)



東オホーツク地域活動報告バイウェイ

HIGASHI-OKHOTSK SCENIC BYWAY

H-7

『呼人水芭蕉群生地の保全活動(網走市)』

【内 容】網走湖周辺の貴重な自然の価値を認識し、自然環境の保全と修復を図り、自然との調和を目指した文化を育み創造することを目的として、保全地林内整備、植樹、風倒木整理、水芭蕉写真展などを実行している。

【主 催】網走湖・水と緑の会

【実 施 日】4月～5月

【実施箇所】一般国道39号 呼人網走国定公園入口

【参 加 者】48名



東オホーツクシニックバイウェイ

HIGASHI-OKHOTSK SCENIC BYWAY

H-8

『桜の名所(景観)創り』

【内 容】美幌の地に日本一の桜花匂う桜の里を築き、花見を楽しめる桜の里「美幌町」を築くことを目的として、毎年、桜の苗木を植樹している。

【主 催】桜の名所を創る会

【実 施 日】5月7日～10月21日

【実施箇所】美幌町緑の村森林公園、美幌町せせらぎ公園雲園憩いの場

【参 加 者】71名



東オホーツクシニッカバイウェイ

H-9

HIGASHI-OKHOTSK SCENIC BYWAY

『花と緑と交流のまちづくり事業』

- 【目的】清里町の恵まれた自然や景観を生かし、住む人にも訪れる人にも潤いと安らぎを与えることのできる「フラワーコミュニティ」「ガーデンタウン」の創造をめざす取り組みを、町民と行政の協働のまちづくりのシンボルとして全町民参加のもとで推進し、交流人口の拡大と地域活性化を目的としている。
- 【内容】自治会花壇、事業所・団体・個人ガーデンの奨励、支援、コスモスロード、緑の回廊づくり、緑肥作物等の支援、推進、フラワーフェスティバルの開催、花めぐりツアーや視察等の受入、フラワーマスター、フラワーガイドの育成など多岐に渡って活動を行っている。
- 【主 催】清里町花と緑と交流のまちづくり委員会
- 【実施日】平成18年度中
- 【実施箇所】清里町内一円
- 【参加者】5,000名



東オホーツクシニッカバイウェイ

H-10

HIGASHI-OKHOTSK SCENIC BYWAY

『ビューポイント探し景観バスツアー』

- 【内容】『東オホーツクシニッカバイウェイ周年記念フォーラム』の一環として、今後の景観形成活動の基礎情報を地元住民、東オホーツクシニッカバイウェイ連携会議のメンバーで共有するため、『景観探しバスツアー』を行う。特にシニックデッキ候補地やビューポイントパーキング候補地の視察を行った。

【主 催】東オホーツクシニッカバイウェイ連携会議

【実施日】6月17日(土)

【参加者】18名



東オホーツクシニックバイウェイ

H-11

HIGASHI-OKHOTSK SCENIC BYWAY

『子どもフォトハイキング』

【内 容】知的障害をもつ子どもたちに自然の中で写真撮影を楽しんでもらおうと、写真教室を開いた。町内の親子17人が参加。フィルム会社から提供を受けた使い捨てカメラを手に、朝日ヶ丘展望台でヒマワリやボニーを撮影した。

【主 催】オホーツクフォトグラーメンバーズ、大空町子どもと歩む会

【後 援】富士フィルムイメージング株式会社、東オホーツクシニックバイウェイ連携会議

【実 施 日】9月24日(日)

【実施箇所】大空町女満別朝日ヶ丘展望台

【参 加 者】17人



カメラ取り扱い説明



ヒマワリを撮影



参加者でボニーを撮影

東オホーツクシニックバイウェイ

H-12

HIGASHI-OKHOTSK SCENIC BYWAY

『第2回 東オホーツクシニックバイウェイフォトコンテスト』

【目 的】東オホーツクの風景・人物など地域の特色ある写真を広く募集し、写真による交流人口の増加と文化の向上、シニックバイウェイ事業への積極的な活動へつなげる。

【内 容】・フォトコンテストの実施 平成18年6月～平成19年2月末

・写真撮影会の開催 6月24～25日、10月7～8日、平成19年2月17日～18日

・応募数 600点

【審 査】平成19年3月15日



応募チラシ



写真撮影会

東オホーツクシニックバイウェイ

H-13

HIGASHI-OKHOTSK SCENIC BYWAY

『第1回 東オホーツクシニックバイウェイフォトコンテスト入賞作品展』

- 【内 容】赤れんが庁舎(北海道庁旧本庁舎)を花で飾る「花フェスタ in 赤れんが」の催物として、第1回 東オホーツクシニックバイウェイフォトコンテスト入賞作品展を開催した。
- 【会 場】赤れんが庁舎(北海道庁旧本庁舎)他、東オホーツク市町(8箇所)・北見市(1箇所)
- 【実 施 日】6月2日～6月11日
- 【展示時間】10:00 ～ 17:00



東オホーツクシニックバイウェイ

H-14

HIGASHI-OKHOTSK SCENIC BYWAY

『美幌エリア 美幌町を観なおそう！プロジェクト』

- 【目 的】何もない当たり前の風景が、美幌らしい景観や自慢できる風景である事を、メンバーで地域の自慢できるものを発掘する。
- 【内 容】山岳ステージのルートのひとつである国道243号の自然景観の良い場所を選定し、その利用法等について検討している。
- 【主 催】東オホーツクシニックバイウェイ連携会議 美幌エリア会議
- 【参加団体】桜の名所を創る会、社団法人美幌青年会議所、東オホーツク美幌あるこう会、美幌観光物産協会、美幌商工会議所青年部、美幌町観光ボランティアの会、ふるさと美幌の自然と語る会、豊かな自然を楽しみ考える会
- 【実 施 日】8月29日(火)、9月15日(金)、10月23日(月)、11月21日(火)、12月12日(火)、平成19年1月23日(火)、2月27日(火)



東オホーツクシニックバイウェイ

H-15

HIGASHI-OKHOTSK SCENIC BYWAY

『シニックデッキの設置及び補修・デッキ設置による効果診断』

【内 容】 景観の良い駐車スペースのあるポイントに、シニックデッキを設置し旅行者などがゆっくりと景色を眺め休憩する事により、東オホーツク地域全体の景観PRをはじめ地域との交流が進んで行く。また、農産物等の特産品販売等、コミュニティビジネスの創出の可能性も高まる。更に道路利用者のオアシスとして交通安全に寄与する。

【設置箇所】・網走原生牧場観光センター: 網走市藻琴225

- ・もことやま山荘: 網走郡大空町東藻琴山園
- ・じゅかいも街道: 斜里郡小清水町字倉栄
- ・清岳荘: 斜里郡清里町字江南872
- ・季風クラブ知床: 斜里郡斜里町ウトロ東318
- ・メルヘンの丘ピューポイントバーキング: 大空町女満別昭和
- ・美幌町古梅駐車帯: 美幌町古梅



知床季風クラブ(斜里町)



メルヘンの丘(大空町)

東オホーツクシニックバイウェイ

H-16

HIGASHI-OKHOTSK SCENIC BYWAY

『ホーストレッキングin網走2006』

【目 的】網走市内の景観名所でのホーストレッキング(野外乗馬)の実施。前夜祭等の開催を合わせて実施し、会員相互及び一般参加者との交流を深める事により、アウトドアの楽しみの一つとして「ホーストレッキング」を普及させると共に、農山漁村と都市との交流を図る。

【内 容】オホーツクホーストレッキングin網走2006: 網走市の原生牧場を開催場所とし、初心者・中級者・上級者のコースを設定し、土日の2日間に渡り開催した。

【主 催】オホーツクホーストレッキング研究会

【実 施 日】6月24・25日

【参 加 者】70名



東オホーツクシニックバイウェイ

H-17

HIGASHI-OKHOTSK SCENIC BYWAY

『斜里岳山麓原生林の森の中ツリーイング(木登り)を楽しもう』

【目的】観光振興の一環として、地域の新しい体験型のイベントを開催し、今後の観光メニューを創出することを目的としている。

【内容】専門のインストラクターの指導のもと、ツリーイングの専門器具を使用して、大人から子供まで木登りを体験し、高所から見える東オホーツクの景色を楽しんだ。

【主 催】清里町商工会

【協 賛】東オホーツクシニックバイウェイ連携会議、NPOきよさと観光協会、清里町ウォーキング同好会、東オホーツクガイド協会、ツリーイング道東支部

【実施日】9月3日(日) 10:00 ~ 14:30

【開催箇所】清里町緑ヶ丘公園

【参加者】32名



東オホーツクシニックバイウェイ

H-18

HIGASHI-OKHOTSK SCENIC BYWAY

『自然観察ハイキング・地球環境問題勉強会』

【目的】自然と親しみながら生物の保全・自然资源の保護育成に努め、目的達成に必要な調査研究を行い、これらに関する町民の認識を深め、住み良い生活と地域文化の向上に貢献する。

【内容】夏期には、美幌町内及びその周辺区域で、自然を観察しながら、ハイキングを行い、冬期は、地球環境問題をテーマにした勉強会を行っている。

【主 催】豊かな自然を楽しみ考える会(自然の会)

【実施日】9月3日(日) 10:00 ~ 14:30

【開催箇所】美幌町内(美幌峠・せせらぎ公園・柏ヶ丘公園・稻美防風林)、呼人遊歩道
裏摩周・川湯防風林 など

【参加者】39名



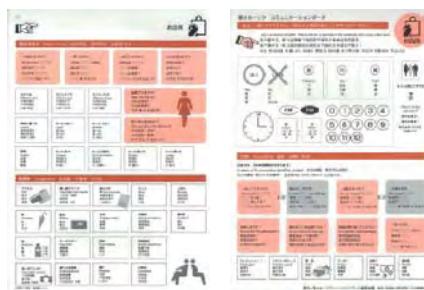
東オホーツクシニッカバイウェイ

H-19

HIGASHI-OKHOTSK SCENIC BYWAY

『コミュニケーションボードの作成』

- 【目的】知床世界自然遺産効果もあり東オホーツク地域を訪れる観光客も増加傾向にある。東オホーツク地域の観光客が遭遇する様々な場面・会話モデルを想定し、色弱等の方にも配慮した優しい色を用いた、イラストと4ヶ国語で表記したコミュニケーションボードを作成し、東オホーツク地域の宿泊施設、飲食店、土産物店等に配布、外国人や障害を持った方へのおもてなしの向上を図る。
- 【主 催】東オホーツクシニッカバイウェイ連携会議
- 【実 施 日】 11月13日(月)、12月12日(火):会議 2月下旬ボード作成
- 【参 加 者】 7名



東オホーツクシニッカバイウェイ

H-20

HIGASHI-OKHOTSK SCENIC BYWAY

『「i」案内所(国際観光振興機構【JNTO】)の指定』

- 【目的】国の政策の一環である、外国人観光客の来訪促進の観点から、当協会観光案内所を「i」案内所(独立行政法人国際観光振興機構【JNTO】が推進)に指定し、NTOツーリストインフォメーションセンターと連携することにより、外国人観光客に対する観光案内や観光情報提供体制の整備を図ることを目的とする。
- 【内容】「i」案内所の指定を受けることにより、接遇マニュアル、筆談集(英語、韓国語、中国語(簡・繁)、フランス語)などの資料等が送付されるほか、有料による電話通訳サポートを受けることができる。
- 【主 催】美幌観光物産協会
- 【実 施 日】 平成18年8月25日付け「i」案内所指定
- 【参 加 者】 204名



東オホーツクシニツクバイウェイ

H-21

HIGASHI-OKHOTSK SCENIC BYWAY

『エリアガイド育成事業』

【目的】世界自然遺産に登録された知床を含む、優れた自然や歴史・文化を有する東オホーツクの広域的な魅力を伝えるための「エリアガイド育成システム」の確立を図り、この地域を訪れる多くの人々に感動を与えるためのエリアガイドを育成することにより、観光振興はもとより、東オホーツク地域の魅力を向上させることを目的とする。

【内容】エリアガイド育成システムの確立を行うため、以下の事項を実施した。

- ・既存ガイドの実態調査
- ・実践的ガイド講習会の実施

【主 催】東オホーツクシニツクバイウェイ連携会議

【実施日】9月25日(月)、12月1日(金):会議 12月12日(火)、1月16日(火)、1月29日(月):講習会の実施

【参加者】延べ50名



東オホーツクシニツクバイウェイ

H-22

HIGASHI-OKHOTSK SCENIC BYWAY

『小清水原生花園フラワーガイド事業』

【目的】原生花園に訪れる観光客などに、原生花園の魅力とその時に咲く花々の紹介を行い、夏の北海道の自然公園の素晴らしさを伝え、再来訪を期待するため地元小清水町民をはじめ、隣接市町村の原生花園を愛するメンバーで、フラワーガイドを展開している。

【内容】冬季間を除き5月～10月までフラワーガイドを行うが、集中期間は花の一番盛んな6月15日～7月15日としている。フラワーガイドは不特定多数を対象として行っており、常時3名体制でボランティアガイドを行っている。

【主 催】小清水町観光ボランティアガイド協議会

【実施日】6月15日～7月15日

【参加者】14名(延べ人数159名)



東オホーツクシニックバイウェイ

H-23

HIGASHI-OKHOTSK SCENIC BYWAY

『オリジナルグッズの製作・試験販売』

- 【目的】東オホーツク地域の特徴あるオリジナル商品を試験的に製作及び販売し地域の特徴ある特産品開発を目指すとともに、コミュニティビジネスの創出を研究する。
- 【内容】シニックバイウェイ事業の認知度の向上、地域景観を生かしたオリジナル商品による地域のPR、フォトコンテスト等関連事業への波及効果などを考慮して、オリジナル切手の試験製作及び販売を行った。オリジナル切手は、1シート¥1,800で東オホーツクを中心に販売を行った。
- 【主催】東オホーツクシニックバイウェイ連携会議
- 【実施日】平成18年度中



東オホーツクシニックバイウェイ

H-24

HIGASHI-OKHOTSK SCENIC BYWAY

『東オホーツクシニックバイウェイMAP Vol.4』

- 【目的】東オホーツクの魅力を多くの方に広めるため「美しい景観・美味しい店・癒しの温泉」情報を発信し、東オホーツクのファンづくりを目指す。
- 【内容】・東オホーツク地域の広域的な情報をマップで紹介
(各ルートのシニックポイント・情報拠点・景観の良いお店・シニックティキ)
・秋の見所の紹介
・お勧めのお店、天然温泉の紹介

【配布部数】50,000部

【配布場所】情報拠点、道の駅、観光案内所など



東オホーツクシニックバイウェイ

H-25

HIGASHI-OKHOTSK SCENIC BYWAY

『初夏の美幌峠牧場内ウォーク』

【内 容】初夏の美幌峠牧場周辺の散策路を1~2時間かけてウォーキングを行った。ウォーキング終了後は、湖西山(美幌峠牧場管理舎)で昼食をとった。

【主 催】美幌観光物産協会

【協 賛】東オホーツク美幌あるこう会、北見歩こう会

【後 援】東オホーツクシニックバイウェイ連携会議

【実施日】7月9日(日) 9:30~14:00

【参加者】90名



東オホーツクシニックバイウェイ

H-26

HIGASHI-OKHOTSK SCENIC BYWAY

『東オホーツクシニックバイウェイホームページ』

【目 的】東オホーツクシニックバイウェイとしての独自ホームページを開設し、様々な地域情報を発信することで、観光客のエリア内誘致を促進するとともに、知床一極集中からの分散化、ロングステイや移住促進、特産品の販売等、エリア内の経済・文化の発展に寄与することを目的とする。

【内 容】これまで作成した、東オホーツクシニックバイウェイマップの情報(シニックデッキ、情報拠点、シニックポイント、景観の良い店、温泉、グルメな店、イベント等)や、活動団体情報の発信のコンテンツを企画した。そのため、メンバーによる、企画検討会議を2度にわたり実施し、公開する運びとなった。

【主 催】東オホーツクシニックバイウェイ連携会議

【実施日】9月29日(金)、2月14日(水):会議 3月下旬HP開設



東オホーツクシニックバイウェイ

H-27

HIGASHI-OKHOTSK SCENIC BYWAY

『美幌エリア取組み報告』

- 【目的】シニックバイウェイ美幌エリアでの取組みを、町民に向けて情報発信し、周知、理解を促しアンケート調査で、地域づくりに向けたニーズの把握と、東オホーツクシニックバイウェイの認識の状況を把握した。
- 【内容】シニックバイウェイ北海道と、東オホーツクシニックバイウェイ美幌エリアの概要と取組みを、びほろ冬まつり会場でテントを設置して、その中でパネルの展示した。また会場内ではアンケート調査を行った。
- 【主催】東オホーツクシニックバイウェイ連携会議
- 【参加団体】桜の名所を創る会、社団法人美幌青年会議所、東オホーツク美幌あるこう会、美幌観光物産協会、美幌商工会議所青年部、美幌町観光ボランティアの会、ふるさと美幌の自然と語る会、豊かな自然を楽しみ考える会
- 【実施日】2月4日(日)10:00~14:00
- 【実施箇所】びほろ冬まつり会場(美幌町あさひ広場公園)
- 【テント来場者】42名

